

## ごみ処理施設内での発火事故が発生して困っています！

北しりべし広域クリーンセンターでは、可燃ごみを焼却処理し、不燃ごみや粗大ごみを破碎処理しています。また、プラスチック類や缶・びんなどの資源ごみはリサイクル処理しています。

不燃ごみや資源ごみに充電式電池が混じると、処理する際の衝撃で発火することがあります。北しりべし広域クリーンセンターでは、炎を検知するたびにごみ処理のラインを止め、施設の安全が確認できるまでごみの受入れを一時停止します。



焼け焦げたごみ



火元となった充電式電池

## 発火事故の原因

充電式電池は、スマートフォンのような通信機器やノートパソコンのようなOA機器、ビデオカメラやデジタルカメラのようなAV機器、それに電動歯ブラシや携帯ゲーム機のような日用品にいたるまで広く使われています。



これらは外側がプラスチックで覆われていることが多いことから、分別を誤って不燃ごみやプラスチック類として資源ごみと一緒に出されたものと考えられ、機械で破碎されたり圧縮されたりする過程で電池が破壊され、その衝撃や摩擦により発火したものと思われます。特に、プラスチック類は燃えやすい材質であるため、大事故につながる恐れがあります。

充電式電池は、他のごみの袋に絶対に入れないでください。



# 絶対に入れないでください！発火の原因となる充電式電池

## 【充電式電池の例】



色々なタイプがあります



携帯電話機用



ゲーム機用

# 使用済みの充電式電池の適正な処理に御協力ください



Li-ion



Ni-Cd



Ni-MH

乾電池とは違い、充電式電池には上記のマークが表示されています。  
上記のマークがある充電式電池は、ごみステーションに出さず、  
家電量販店などの回収協力店のリサイクルボックスをご利用ください  
(詳細はお住まいの市町村の担当課にお問い合わせください)。



※小樽市では、令和3年4月から筒形乾電池・コイン電池(CR、BR)  
と一緒に充電式電池をごみステーション回収しています。

小樽市のHPのリンク <https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2021031700149/>

## まとめ ～使用済みの充電式電池は～

乱暴に扱わない



他のごみと混ぜない

